

# 公益社団法人計測自動制御学会 2020年度（令和2年度）事業計画書

公益社団法人第10期 通算第59期  
2020年（令和2年）1月1日～12月31日

## 目 次

I. 2020年度事業計画	
1. SICE ミッションと事業計画（2020年） .....	1
II. 2020年度事業計画附属明細書	
1. 単年度事業計画（2020年） .....	3

# SICE®

2020年（令和2年）2月

公益社団法人計測自動制御学会

東京都千代田区神田小川町1-11-9 金子ビル4階

電話 (03) 3292-0314

FAX (03) 3292-3145

URL <https://www.sice.jp/>



# I. 2020年度事業計画

## 1. SICE ミッションと事業計画 (2020年)

2019年度に理事会で策定された「SICE ミッションと事業計画 (2020年)」を以下に示します。

## SICE ミッションと事業計画(2020年)

企画委員会 2019-11-28

### ミッションステートメント

計測・制御・システムの中核学会として、

- ①諸分野を横断して知を究め、新しい価値を創造し、
- ②関連分野・産学官のハブとなり、発信・連携することで、社会的課題の抽出・解決に貢献する。

#### 社会貢献:

計測・制御・システムに関する学術及び技術の進歩発達を図り、文化の向上並びに産業の発展に寄与する。そのために、国内外の若手人材を育成し国際的に卓越した成果を創出／提供し続ける場を構築するとともに、分野横断を推進し新たな価値を創造する。

#### 会員への貢献:

計測・制御・システムに関わる会員の分野横断的な活動を支えるために、専門性深化と知的創造、情報の発信と交換、学術体系化、産学官連携推進などを効果的に実現できる場を提供する。

#### 国際貢献:

Annual Conference (AC)開催や英文論文誌発行を中心に、アジアそして世界における計測・制御・システム分野の研究・技術の発信と提案を進める。さらに標準化の推進において国際的役割を果たす。

#### 学協会組織への貢献:

国内外の学協会連携組織および連携活動に参加し、関連学術・技術分野の縦横断的な連携の強化に取り組む。

### 基幹事業

- ・Annual Conference(AC)開催
- ・部門主催講演会、支部主催講演会等の開催
- ・部門・支部内各種事業および研究会活動
- ・各種セミナー・展示会・見学会開催
- ・関連国際会議、国内会議、展示会の共催、協賛
- ・学会誌、論文集発行
- ・web等による情報発信
- ・技術者教育と資格認定
- ・標準化活動
- ・各種学会賞贈呈
- ・その他

分野	中期的課題	2020年度 SICE 事業計画	主担当組織	副担当組織
社会貢献	1. Society 5.0、SDGs 等社会的課題への SICE の取り組み	1.1 Society 5.0 の概念整理・用語整備と WG 設置	総務委	部門協、支部協、国際標準化委
		1.2 Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信	部門協、支部協、会誌委	各部門、支部
	2. 新技術への SICE の取り組み	2.1 AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画	部門協、支部協、会誌委	
		2.2 AI/IoT/ビッグデータ塾(仮称)の検討と企画	教育委	総務委
3. SICE 人材像の再定義	3.1 計測・制御・システムの参照基準に基づき、システム思考と知識の利用ができる“SICE 人材像”の再定義。WG 設置の検討。	総務委		
国際貢献	4. SICE の国際性向上	4.1 AC(SICE2020)のタイ開催に向けた準備	AC 委	国際委、総務委
		4.2 SICE が主催、共催する国際会議、および招聘/現地組織する国際会議(IMEKO2021, IROS2022, IFAC2023)への開催支援	国際委	部門協、担当部門
		4.3 英文論文集の国際的評価基準(ESCI, Citation Index 等)獲得へ向けた活動の継続	論文委	
		4.4 国際規格の作成に向けた活動とそのプロモーション	国際標準化委	各部門、支部
会員への貢献	5. 企業会員のための施策の強化	5.1 企業会員のためのチュートリアル講演会の企画・実施 新 WG の検討	事業会員委	
		5.2 企業成果の効果的発信と論文発表形式の見直し	事業会員委、論文委	総務委、国際標準化委、学会賞委
	6. 会員への情報発信と教育支援	6.1 SICE 内相談窓口機能の設置検討(技術相談、講演相談等)	事業会員委	
		6.2 企業(賛助会員等)を対象としたイベント開催による企業技術者教育と情報発信強化、非会員に向けた情報発信	事業会員委	
		6.3 他団体表彰への SICE 推薦制度の整理と検討	学会賞委	
7. 周年行事の開催	7.1 SICE60 周年記念事業(Y60, 2021 年)の実施と実行委員会への協力	総務委	企画委、AC 委	
学会基盤の強化	8. 広報・リエゾン機能の強化	8.1 強化すべき広報機能の明確化と広報体制の検討	総務委	部門協、支部協、事業会員委
		8.2 SICE 活動を俯瞰したリエゾン機能を持つ組織(委員会、WG 等)の検討。8.1 広報機能強化との合同/連携の検討	総務委	部門協、支部協、事業会員委
	9. 和文論文誌と英文論文誌への投稿の増加	9.1 和文論文誌と英文論文誌の位置づけおよび編集方針の見直しによる投稿数拡大	論文委	総務委、学会賞委
	10. 支部新設・再編によるサービスの拡大とインセンティブ見直しによる部門活動の強化	10.1 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続	支部協	
		10.2 部門へのインセンティブルールの見直し	財務委、部門協	
	11. 会員数減少への対応	11.1 部門・支部行事への参加者情報(会員/非会員)の整備および参加者動向の分析。会員数減少への対策 WG の設置の検討	総務委	部門協、支部協
	12. SICE の事業および業務の適正化による収支改善と財務基盤の強化	12.1 事務局業務の見直しと効率化の推進	総務委	財務委
		12.2 事業および業務適正化による収支改善と財務基盤の強化	財務委	総務委
	13. 継続事業とコンプライアンス	13.1 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守	全組織	

## Ⅱ. 2020年度事業計画付属明細書

### 1. 単年度事業計画 (2020年)

各委員会、部門、支部が策定した「2020年度計画（・実施報告）」を以下に示します。

番号	組織名	担当理事、部門長、支部長
01	総務委員会	業務執行理事 藤本委員長、伊藤副委員長
02	財務委員会	業務執行理事 後久委員長、山本(秀)副委員長
03	企画委員会	業務執行理事 副会長 小野委員長
04	学会賞委員会	業務執行理事 副会長 小林委員長
10	会誌出版委員会	業務執行理事 尾形委員長、大重副委員長
11	論文集委員会	業務執行理事 山下委員長 新妻副委員長(和)、石川副委員長(英)
12	Annual Conference (AC) 委員会	業務執行理事 金子委員長
13	国際委員会	業務執行理事 安藤委員長、三浦副委員長
14	国際標準化委員会	業務執行理事 副会長 小野委員長
15	事業会員サービス委員会	業務執行理事 茂森委員長、長谷川副委員長
16	教育・認定委員会	業務執行理事 橋本委員長
30	部門協議会	業務執行理事 田中(仁)議長、山本(大)副議長
31	計測部門	寺本部門長
32	制御部門	井村部門長
33	システム・情報部門	平田部門長
34	システムインテグレーション部門	新井部門長
35	産業応用部門	藤田部門長
36	ライフエンジニアリング部門	中島部門長
50	支部協議会	業務執行理事 高山議長、鈴木(高)副議長
51	北海道支部	近野支部長
52	東北支部	吉田支部長
53	中部支部	佐々木支部長
54	北陸支部	渡辺支部長
55	関西支部	津坂支部長
56	中国支部	平田支部長
57	四国支部	宮田支部長
58	九州支部	喜安支部長

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	総務委員会	担当	藤本委員長、伊藤副委員長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0 の概念整理・用語集の整備 (1.1)</li> <li>・ SICE 人材像の再定義 (3.1)</li> <li>・ SICE60 周年記念事業の推進 (7.1)</li> <li>・ 広報、リエンジ機能の強化 (8.1.8.2)</li> <li>・ 部門・支部行事への参加者情報整備、分析、及び会員数減少への対策検討(11.1)</li> <li>・ 事務局業務の見直しと効率化推進(12.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> <li>総務委員会の開催</li> <li>・ 委員決定</li> <li>・ 開催日時の決定</li> <li>・ 委員会開催</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 理事会、拡大理事ワークショップ、社員総会 その他のイベントの開催計画作成 (決定は理事 会)</li> <li>・ 各イベント間の整合性を考慮した年間計画の 検討</li> <li>2) Society5.0 の概念整理と用語集整備</li> <li>・ Society5.0 の概念整理・用語集整備のための WG 設置と運営支援</li> <li>3) SICE 人材像の再定義</li> <li>・ 計測・制御・システムの参照基準に基づき、シ ステム思考と知識を利用できる” SICE 人材像” の再定義。</li> <li>WG 設置の検討。</li> <li>4) 広報、リエンジ機能の強化</li> <li>・ 強化すべき広報機能の明確化と広報体制の検 討</li> <li>・ SICE 活動を俯瞰したリエンジ機能を持つ組織 (委員会、WG 等) の検討。</li> <li>5) SICE60 周年記念事業 (Y60, 2021 年) 推進</li> <li>・ Y60 の実施に向けた実行委員会への協力</li> <li>6) 学会運営の円滑化</li> <li>・ 理事会運営の効率化</li> <li>・ 次年度予算の妥当性確認</li> <li>・ 課題事項のタイムリーな対応、処理</li> <li>7) 各委員会、部門および支部の活動フォロー</li> <li>・ 部門・支部行事への参加者情報 (会員/非会員) の整備及び参加者動向の分析</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> </ul>		

- ・ 会員数減少への対策検討
- 8) 事務局業務の適性化、強化
  - ・ 事務局員のフォロー
  - ・ 事務局員の業務分担及び業務量の適性化
  - ・ 事務局員とのコミュニケーション向上
- 9) 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの  
遵守

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	財務委員会	担当	後久委員長、山本(秀)副委員長
-----	-------	----	-----------------

2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分	
・部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)	
・事業および業務適正化による収支改善と財務基盤の強化 (12.2)	
・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)	

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p><b>【定常業務】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 期末決算・事業報告作成 (1～3 月)</li> <li>2. 期末決算・事業報告内閣府提出準備 (3 月)</li> <li>3. 期末決算・事業報告 内閣府提出 (3 月末)</li> <li>4. 新役員変更届内閣府提出 (4 月末)</li> <li>5. 上期活動計画の見直し (4～6 月)</li> <li>6. 中間決算 (6 月末)</li> </ol> <p><b>【財務基盤強化、業務見直し・効率化推進】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 収益事業新設の検討</li> <li>8. 国際化 5 カ年特別費用準備資金の運用確認、見直し・修正を適宜実施</li> <li>9. 中期的な財務シミュレーション</li> <li>10. 財務構造の見直し (受取会費の法人・公益配分比率、等)</li> </ol>	●1～6 月

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員決定</li> <li>・開催日時の決定</li> <li>・委員会開催</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Society5.0 の概念整理と用語集整備</li> <li>・ Society5.0 の概念整理・用語集整備のための WG 設置と運営支援</li> <li>2) SICE 人材像の再定義             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計測・制御・システムの参照基準に基づき、システム思考と知識を利用できる“SICE 人材像”の再定義。</li> <li>WG 設置の検討。</li> </ul> </li> <li>3) 広報、リエゾン機能の強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強化すべき広報機能の明確化と広報体制の検討</li> <li>・ SICE 活動を俯瞰したリエゾン機能を持つ組織 (委員会、WG 等) の検討。</li> </ul> </li> <li>4) SICE60 周年記念事業 (Y60, 2021 年) 推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Y60 の実施に向けた実行委員会への協力</li> </ul> </li> <li>5) 学会運営の円滑化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事会運営の効率化</li> <li>・ 次年度予算の妥当性確認</li> <li>・ 課題事項のタイムリーな対応、処理</li> </ul> </li> <li>6) 各委員会、部門および支部の活動フォロー             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門・支部行事への参加情報 (会員/非会員) の整備及び参加者動向の分析</li> <li>・ 会員数減少への対策検討</li> </ul> </li> <li>7) 事務局業務の適性化、強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局員のフォロー</li> <li>・ 事務局員の業務分担及び業務量の適性化</li> <li>・ 事務局員とのコミュニケーション向上</li> </ul> </li> <li>8) 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの遵             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの遵</li> </ul> </li> </ol>	●7～12 月

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	企画委員会	担当	小野委員長 (副会長)	
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SICE ミッションの策定と各組織への展開</li> <li>・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>				
2020 年度事業計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6 月</li> <li>委員会開催</li> <li>委員の決定</li> <li>委員会開催 2～3 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学会活動の将来に向けた課題の洗い出しと整理 拡大理事ワークショップへの展開。</li> <li>2. 2020 年度拡大理事ワークショップの準備 日時および場所の決定 (1～6 月)、討議テーマ とリーダーの決定 (6 月～7 月)</li> <li>3. SICE 事業計画「7.1 SICE60 周年記念事業 (Y60、 2021 年) の実施と実行委員会への協力」に基づ き、副担当組織として総務委員会のリーダーシ ップのもと Y60 (SICE60 周年記念事業) 実行委 員会へ協力する (総務委、企画委、会誌委、AC 委)</li> </ul>			2020 年度実施結果  ●1～6 月

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12 月</li> <li>【定常業務】</li> <li>1. 上期活動報告・中間決算結果報告 (7 月)</li> <li>2. 事業計画策定・予算策定 (7～10 月)</li> <li>3. 事業計画・予算レビュー (11 月)</li> <li>4. 事業計画・予算内閣府提出準備 (11～12 月)</li> <li>5. 事業計画・予算内閣府提出 (12 月末)</li> <li>6. 期末決算 (12 月)</li> <li>【財務基盤強化、業務見直し・効率化推進】</li> <li>7. 収益事業新設に伴う実施体制・ルールの検討</li> <li>8. 国際化 5 年特別費用準備資金の運用確認、 見直し・修正を適宜実施</li> <li>【インセンティブルール見直し】</li> <li>9. インセンティブルールの運用確認、見直し・ 修正を実施</li> </ul>	●7～12 月



2020 年度事業計画・実施報告

組織名	学会賞委員会	担当	小林委員長 (副会長)
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体表彰への SICE 推薦制度の整理と検討 (6.3)</li> <li>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
●1～6 月	<ol style="list-style-type: none"> <li>2019 年度学術奨励賞の選考作業</li> <li>(他団体表彰) 2020 年度油空圧機器技術振興財団論文顕彰への推薦論文選考作業</li> <li>2020 年度学会賞 (論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞) の選考作業</li> <li>(他団体表彰) 2020 年度 FA 財団論文賞への推薦論文選考作業</li> <li>(他団体表彰) 島津科学技術振興財団論文賞への推薦作業</li> <li>(功績賞選考委員会) 2020 年度功績賞授与候補者選考作業</li> <li>(フェロー選考委員会) 2020 年度フェロー称号授与候補者選考作業</li> <li>SICE 2020 Annual Conference Award 選考作業</li> <li>(随時) 部門等からの SICE Young Authors Award 募集要項提案の検討・承認および理事会への提案</li> </ol>	●1～6 月	

2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
●7～12 月 委員会開催：2～3 回	<ol style="list-style-type: none"> <li>拡大理事ワークショップの討議結果等を 2021 年度 SICE 中期的課題と事業計画へ展開する。</li> <li>拡大理事ワークショップの討議結果等を 2021 年度 SICE 中期的課題と事業計画へ展開する。</li> <li>各組織へ 2021 年度事業計画の提出を依頼する。</li> <li>各組織の 2021 年度事業計画を確認し、理事会へ提案する。</li> <li>SICE 事業計画「7.1 SICE60 周年記念事業 (Y60, 2021 年) の実施と実行委員会への協力」に基づき、副担当組織として総務委員会のリーダーシップのもと Y60 (SICE60 周年記念事業) 実行委員会へ協力する (総務委、企画委、会誌委、AC 委)</li> </ol>	●7～12 月	

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	会誌出版委員会	担当	尾形委員長、大重副委員長
-----	---------	----	--------------

2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分	
・イベントや会誌発行における Society5.0 に関する積極的情報発信(1.2)	
・AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)	
・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)	

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1. 学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会員にも魅力的なテーマ選定、キーワード解説の充実</li> <li>・特に分野を超えた読者が理解しやすい基盤編(解説編)、部門間連携分野、学術から産業応用へ広がりのある技術の企画</li> <li>・企業研究者/エンジニア、産業応用大学研究者による産業応用記事のさらなる拡充</li> </ul> <p>※特集の前半を大学教員メインで解説を含めた執筆を拡充し、後半に産業応用記事を積極的に掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性研究者、若手研究者(40歳以下)を紹介する“FACE the future”の人選と継続</li> </ul> <p>2. 新テック/ロジックシリーズの出版・企画継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に企画・公募した新テック/ロジックシリーズの出版</li> <li>・新たな公募テーマの企画</li> <li>・出版継続体制構築に向けた出版担当委員の拡充</li> </ul> <p>3. 学会誌のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より魅力的な表紙デザインの検討(前年度継続検討項目)</li> <li>・「執筆のしおり」「チェックリスト」の見直し</li> <li>・適正な会誌価格の検討(前年度継続検討項目)</li> </ul> <p>4. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去アーカイブ: Vol.51 (2012年) 半期分 (7月から12月号)</li> </ul> <p>5. より魅力的な会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌出版委員会への若手/女性研究メンバーの積極的採用</li> <li>・会誌出版委員への企業関係者の更なる採用</li> <li>・事業会員サービスで進められている SNS 活性化との連携</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>
<p>●7～12 月</p> <p>1) SICE 2020 Annual Conference Award 選考作業</p> <p>2) (同時) 部門等からの SICE Young Authors Award 募集要項提案の検討・承認および理事会への提案</p> <p>3) 学会賞委員会、各部門、各支部が所轄する賞の整理と見直し</p> <p>4) 各賞の選考作業の見直し</p> <p>5) 2020 年度学術奨励賞の選考作業</p> <p>6) 2021 年度学会賞 (論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞) 受賞候補の推薦募集</p> <p>7) 2021 年度功績賞授与候補者の推薦募集</p> <p>8) 2021 年度フェロー称号授与候補者の推薦募集</p>	<p>●7～12 月</p>

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	論文集委員会	担当	山下委員長 新妻副委員長(和)、石川副委員長(英)
<p>2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英文論文集の国際的評価基準 (SCSI, Citation Index 等) 獲得へ向けた活動の継続 (4.3)</li> <li>企業成果の効率的発信と論文発表形式の見直し (5.2)</li> <li>和文論文誌と英文論文誌の位置づけおよび編集方針の見直しによる投稿数拡大 (9.1)</li> <li>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<p>●1~6 月</p> <p>1. 論文誌出版業務体制の見直し</p> <p>1-1 事務局業務体制の見直しと連動し、外注化を視野に入れた出版業務体制の検討を行う。</p> <p>2. 論文集委員会の開催</p> <p>2-1 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文集事業の戦略検討を深める (投稿・査読システムの改善による査読期間の短縮、「実用性」を重視するなど企業成果を広く受け入れるための査読方針の見直し、採択率の最適化による投稿数・掲載数の増加、など)の提言に対し、具体的な実現可能性について検討し採否を見極める。</p> <p>2-2 論文掲載のカラー化、電子論文への統一など、今後の出版体制を踏まえつつ時代に即した論文出版のあり方について検討を行う。</p> <p>2-3 プレプリントサーバーへの対応、CC ライセンスへの対応など、電子出版化独自の課題について関連直轄委員会と連携しながら検討する。</p> <p>3. 和論文誌の発行</p> <p>3-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p> <p>4. JCMSI 誌の発行</p> <p>4-1 論文誌の地位向上のためのインパクトファクター取得に向けて、編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。</p> <p>4-2 Predatory Journal 対策として、論文誌の健全性・国際的信頼性を担保するための取り組みを検討、実施する。</p> <p>4-3 引き続き海外から Editor を招聘することも、これまでの分野別から技術キーワード別に變更するなど Editorial Board の国際化に対応した体制を構築する。</p> <p>4-4 会員へ英文誌投稿を支援するサービス (英文チェック、セミナーなど) 提供を検討する。</p>	<p>●1~6 月</p>		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7~12 月</p> <p>1. 学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業会員にも魅力的なテーマ選定、キーワード解説の充実</li> <li>企業研究者/エンジニア、産業応用大学研究者による産業応用記事の充実</li> <li>新連載記事の検討</li> <li>計測、制御の関わる文化的位置付け (もう少し文系の内容を検討できないか)</li> </ul> <p>2. SICE の企業会員/若手会員増加施策への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SICE 特集と他のセミナー・講演会のリンクによるより魅力的な情報発信の検討</li> </ul> <p>3. 新テクノロジーシリーズの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新テクノロジーシリーズの編集開始</li> </ul> <p>4. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去アーカイブ: 過去アーカイブ: Vol. 51 (2012 年) 半期分 (7 月から 12 月号) は上半期で実施</li> </ul> <p>5. より魅力的な会誌を出版するための次年度運営体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会誌出版委員会への若手/女性研究メンバーの採用等の検討</li> <li>企業からの委員選出を推進</li> </ul>	<p>●7~12 月</p>

2020年度事業計画	2020年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1. 論文誌出版業務体制の変更</p> <p>1-1 事務局業務体制の見直しと連動し、出版業務体制の変更を実施する。</p> <p>2. 論文集委員会の開催</p> <p>2-1 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文事業の戦略検討を深める（投稿・査読システムの改善による査読期間の短縮、「実用性」を重視するなど企業成果を広く受け入れるための査読方針の見直し、採択率の最適化による投稿数・掲載数の増加、などの提言に対し、具体的な実現可能性について検討し採否を見極める。）</p> <p>2-2 論文原稿のカラー化、電子論文への統一など、今後の出版体制を踏まえつつ時代に即した論文出版のあり方について検討を行う。</p> <p>3. 和論文誌の発行</p> <p>3-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p> <p>4. JCMST誌の発行</p> <p>4-1 論文誌の地位向上のためのインパクトファクター取得に向けて、編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。</p> <p>4-2 Predatory Journal 対策として、論文誌の健全性・国際的信頼性を担保するための取り組みを検討、実施する。</p> <p>4-3 引き続き海外から Editor を招聘するとともに、これまでの分野別から技術キーワード別に変更するなど Editorial Board の国際化に対応した体制を構築する。</p> <p>4-4 J-STAGE 上でフリーアクセス状態である電子論文のオープンアクセス化を推進する。</p> <p>4-5 会員へ英文誌投稿を支援するサービス（英文チェック、セミナーなど）提供を検討する。</p> <p>5. 論文セミナー実施</p> <p>5-1 前期の検討結果を踏まえて、セミナーを開催する。</p>	<p>●7～12月</p>

<p>5. 論文セミナー実施</p> <p>5-1 昨年の開催状況を踏まえ、開催形態、内容、実施回数等の見直しを図る。</p>	
-----------------------------------------------------------------	--

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	Annual Conference (AC) 委員会	担当	金子委員長
<p>2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AC (SICE2020) のタイ開催に向けた準備 (4.1)</li> <li>総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
<p>2020 年度事業計画</p>		<p>2020 年度実施結果</p>	
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SICE2020 (タイ) の実施に向けた準備               <ol style="list-style-type: none"> <li>論文採択戦略の議論</li> <li>開催地の文化や観光情報なども発信するなど、PR 方法の改善・強化を実施</li> <li>日本語イベント (WS や企業展示) を企画し、賛助会員へ宣伝、展示は出展勧誘も実施</li> <li>セッションプレゼンテーション賞の実施</li> <li>SICEWEK2020 の企画・準備</li> <li>海外コミュニティ活動の支援・準備・実施                   <ul style="list-style-type: none"> <li>ASEAN Workshop (日本留学経験のある ASEAN 研究者・技術者に関連の ASEAN 地域学生の支援)</li> <li>SICE 2020 コミュニティ支援企画</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>SICE2021 (東京) の準備、広報               <ol style="list-style-type: none"> <li>SICE2021 の準備、実行委員会等の決定</li> <li>SICE2020 パンケット等での広報</li> <li>SICE60 周年記念事業の実施、実行委員会への協力</li> </ol> </li> <li>SICE2019 (広島) の実績解析、問題点の把握と改善</li> <li>SICE2022 (熊本) の準備、実行委員会等の決定</li> <li>SICE2023 の開催地検討</li> <li>海外での定例開催 (2023 or 2024 以降、3 年ごと? or 5 年ごと?) についての議論、支部協議会とも連携</li> <li>AC 参加者データベースの構築 (継続)</li> </ol>	<p>●1～6 月</p>		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SICE 2020 (タイ) の実施               <ol style="list-style-type: none"> <li>日本語イベントの実施</li> <li>セッションのプレゼン賞の選考・表彰</li> <li>SICEWEK2020 の実施</li> <li>ASEAN Workshop の実施</li> <li>SICE コミュニティ支援企画の実施</li> </ol> </li> <li>SICE2021 (東京) の準備 (継続)               <ol style="list-style-type: none"> <li>SICE2021 の準備 (継続)</li> <li>SICE60 周年記念事業の実施、実行委員会への協力 (継続)</li> </ol> </li> <li>SICE2020 (タイ) の実績解析、問題点の把握と改善</li> <li>SICE2022 準備</li> <li>SICE2023 の開催地決定</li> <li>海外での定例開催 (2023 or 2024 以降、3 年ごと? or 5 年ごと?) についての議論、支部協議会とも連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>海外開催地・共催相手の議論 (継続)</li> </ul> </li> <li>AC 参加者データベースの構築 (継続)</li> </ol>	<p>●7～12 月</p>

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	国際委員会	担当	安藤委員長、三浦副委員長
<p>2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>・SICE が主催、共催する国際会議、および招聘/現地組織する国際会議 (IMEKO2021、IROS2022、IFAC2023) への開催支援 (4.2)</p> <p>・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</p>			
<p>●1～6 月</p> <p>1-1 海外学会との交流</p> <p>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</p> <p>① MOU(自動)更新方法の検討、更新可否の議論および理学会への報告</p> <p>② 韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTI との Tech. Co. を締結</p> <p>- Tech. Co. 案内発信→受諾受領→IEEE 登録</p> <p>③ IEEE 登録 (Conference Application)</p> <p>- Tech. Co. 締結と SICE 側 Tech. Co. 登録</p> <p>- IEEE/CSS/RAS/IES</p> <p>- 韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTI</p> <p>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</p> <p>① 各種国際会議への SICE 派遣代表者決定、主な派遣先: ECTI-COIN, CCC, ICCAS, ICROS, IECON, CACS, IROS, CDC 等</p> <p>② 派遣先との調整(派遣連絡、代表者の役割確認、重要会議出席調整等)</p> <p>1-1-3 海外学会・団体との関係強化</p> <p>① 各種国際会議への SICE AC2020 案内発信</p> <p>② 新規の関係強化方法、代表者派遣先、派遣再開、SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法等の検討</p> <p>③ IROS への貢献強化、国内投稿数増等活性化方法の検討</p> <p>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</p> <p>1-2-1 SICE AC 2020 対応着手</p> <p>① VIP Reception 計画検討開始 (Invitation 案、宛先リスト作成 (事務局))</p> <p>② Friendship Lunch Meeting 等の計画検討開始 (Invitation 案、招待委託リスト作成 (事務局))</p> <p>③ STGA 準備 (募集事項検討・WEB 掲載依頼・審査委員決定)</p>	<p>2020 年度実施結果</p> <p>●1～6 月</p>	<p>1-3 国際団体への協力活動</p>	
<p>1-3-1 IMEKO 委員会との連携 (日本学術会議総合工学委員会内 IMEKO 委員会と SICE の IMEKO 委員会連携)</p> <p>① IMEKO 委員会参加</p> <p>② TC 等 IMEKO 関連行事参加支援</p> <p>③ IMEKO2021 世界大会 (横浜) に向けた活動支援 (国際化準備資金活用)</p> <p>④ 計測部門との連携</p> <p>1-3-2 IFAC 委員会との連携</p> <p>① IFAC2023 実行委員会参加</p> <p>② IFAC2023 世界大会 (横浜) 開催支援 (体制助言、国際化準備資金活用)</p> <p>③ IFAC 関連会議活動広報</p> <p>④ 制御部門との連携</p> <p>1-3-3 IROS2022 に向けた活動支援</p> <p>① IROS 実行委員会、SI 部門との関係整理</p> <p>② IROS2022 (京都) 実行委員会との連携・活動支援 (国際化準備資金活用)</p> <p>③ SI 部門との連携</p> <p>2-1 SICE の国際プレゼンス向上活動</p> <p>2-1-1 海外人材育成</p> <p>① アジア地区他学会カンファレンス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 韓国 ICROS Joint Session 検討着手</li> <li>- タイ ECTI Joint Session 検討着手</li> </ul> <p>② 英文論文誌インパクトファクター獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 調査・獲得手続き継続 (事務局・論文集委)</li> </ul> <p>③ 海外人事育成への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- アジア地区人材育成貢献術検討</li> <li>- 相互インターンシップ等検討</li> </ul> <p>2-1-2 海外コミュニティ活動支援</p> <p>① SICE2020 コミュニティ支援企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コミュニティ WS 企画 (AC 委, Y60)</li> <li>- ASEAN 地域学生支援 (AC 委, 実行委員会)</li> </ul>			

2020年度事業計画	2020年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1-1 海外学会との交流</p> <p>1-1-1 海外学会との共催・協賛・協費、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</p> <p>① MOU(自動)更新方法の検討, 更新可否の議論および理事会への報告</p> <p>② 2020年の韓国 ICROS, 中国 TOCT, ならびにタイ ECTI との Tech. Co. 締結手続き開始</p> <p>- Tech. Co. 案内発信→受諾受領→IEEE 登録</p> <p>③ IEEE 登録作業着手 (②受諾受領後)</p> <p>- Tech. Co. 締結と SICE 側 Tech. Co. 登録</p> <p>- IEEE/CSS/RAS/IES</p> <p>- 韓国 ICROS, 中国 TOCT, タイ ECTI</p> <p>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</p> <p>① 各種国際会議への SICE 代表者派遣, 報告書受理・理事会報告, 主な派遣先: ECTI-CON, CCC, ICCAS, MICONEX (要検討), IECON, CACS, IROS, CDC 等</p> <p>② 派遣先との調整 (派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等)</p> <p>1-1-3 海外学会・団体との関係強化</p> <p>① 各種国際会議への SICE AC 2020/2021 案内早期発信</p> <p>② 新規の関係強化方法, 代表者派遣先, 派遣再開, SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法などの検討</p> <p>③ IROS への貢献強化, 国内投稿数増等活性化方法の検討</p> <p>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</p> <p>1-2-1 SICE AC 2020 対応</p> <p>① Invitation の早期発行 (ビザ必要国)</p> <p>② VIP Reception 実施 (プログラム, 司会等)</p> <p>③ Friendship Lunch Meeting 実施 (記念品準備, 司会, 協力関係確認 (SICE 事務局と協力))</p> <p>- ICROS, ECTI, TOCT 等</p> <p>④ STGA 選考・表彰 (応募受理・整理 (事務局)、審査・選考、表彰状 (事務局)、Award Ceremony 司会)</p> <p>1-3 国際団体への協力活動</p> <p>1-3-1 IMEKO 委員会との連携 (日本学術会議総合工学委員会内 IMEKO 委員会と SICE の IMEKO 委員会連携)</p> <p>① IMEKO 委員会参加</p> <p>② TC 等 IMEKO 関連行事参加支援</p> <p>③ IMEKO2021 (横浜)に向けた活動支援 (国際化準備資金の活用等)</p>	<p>●7～12月</p> <p>1-1 海外学会との連携</p> <p>① IFAC2023 実行委員会への参加</p> <p>② IFAC2023 世界大会(横浜)開催支援 (体制助言、国際化準備資金活用)</p> <p>③ IFAC 関連会議活動広報</p> <p>④ 制御部門との連携</p> <p>1-3-2 IROS2022 に向けた活動支援</p> <p>① IROS2022 (京都)実行委員会との連携・活動支援 (国際化準備資金活用)</p> <p>② SI 部門との連携 (リエゾン (SI 部門国際委員) 設置等)</p> <p>2-1 SICE の国際プレゼン向上活動</p> <p>2-1-1 海外人材育成</p> <p>① アジア地区他学会カンファレンス支援</p> <p>- 韓国 ICROS Joint Session 検討着手</p> <p>- タイ ECTI Joint Session 検討着手</p> <p>② 英文論文誌インパクトアクトアタター獲得</p> <p>- 調査・獲得手続き継続 (事務局・論文集委)</p> <p>③ 海外人事育成への貢献</p> <p>- アジア地区人材育成貢献策検討</p> <p>- 相互インテンションシップ等検討</p> <p>2-1-2 海外コミュニティ活動支援</p> <p>① SICE2020 コミュニティ支援企画</p> <p>- コミュニティ WS 企画 (AC 委, Y60)</p> <p>- ASEAN 地域学生支援 (AC 委, 実行委員会)</p>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	国際標準化委員会	担当	小野委員長 (副会長)
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際規格の作成に向けた活動とそのプロモーション (4. 4)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13. 1)</li> </ul>			
<p>●1～6 月 委員会開催：2 回以上予定</p> <p>1) SICE 2020 (9 月 タイ チェンマイ) に向けた OS 企画の策定 (実行、運営は下期)</p> <p>2) 国際標準化動向の調査</p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討</p> <p>4) 国際標準化賞の推薦 功績賞と奨励賞の候補者についてその妥当性を評価・審議し、適当と認められた者を学会賞委員会に推薦する。</p> <p>5) JIS 規格の定期見直しと改廃の検討</p> <p>6) SICE 年度計画「I.1 Society 5.0 の概念整理・用語整備と WG 設置」に関して総務委員会に協力する。</p> <p>7) 国際標準化の課題検討</p>		<p>●1～6 月</p> <p>2020 年度実施結果</p>	

組織名	国際標準化委員会	担当	小野委員長 (副会長)
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際規格の作成に向けた活動とそのプロモーション (4. 4)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13. 1)</li> </ul>			
<p>●7～12 月 委員会開催：2 回以上予定</p> <p>1) SICE 2020 (9 月 タイ チェンマイ) での OS 企画・実施する。</p> <p>2) 国際標準化動向の調査</p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討</p> <p>4) 国際標準化賞の推薦 (上期にて実施)</p> <p>5) JIS 規格の定期見直しと改廃の検討</p> <p>6) SICE 年度計画「I.1 Society 5.0 の概念整理・用語整備と WG 設置」に関して総務委員会に協力する。</p> <p>7) 国際標準化の課題検討</p>		<p>●7～12 月</p> <p>2020 年度実施結果</p>	



## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	事業会員サービス委員会	担当	茂森委員長、長谷川副委員長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会員のためのチュートリアル講演会の企画・実施、新 WG の検討 (5. 1)</li> <li>・企業成果の効果的発信と論文発表形式の見直し (5. 2)</li> <li>・SICE 内相談窓口機能の設置検討 (技術相談、講演相談等) (6. 1)</li> <li>・企業 (賛助会員等) を対象としたイベント開催による企業技術者教育と情報発信強化、非会員に向けた情報発信 (6. 2)</li> <li>・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13. 1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月 委員会活動：3 回</li> <li>◆ 企業会員のための施策の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・新 WG によるチュートリアル講演会の企画</li> <li>・企業による効果的発信と論文発表形式の見直し検討</li> </ul> </li> <li>◆ 会員への情報発信と教育支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全のための計測・制御・シフトを考える会」の活動</li> </ul> </li> <li>〈定期的な会合〉               <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験セミナー・企業見学会年間計画策定(3 月)</li> <li>→ 準備、実施、フォローアップ</li> </ul> </li> <li>・産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携)               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 実施、フォローアップ</li> </ul> </li> <li>・その他友好団体との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 男女共同参画学協会連絡会への参加</li> <li>→ 夏の学校出展準備・SICE 内相談窓口機能の設置に向けた検討</li> </ul> </li> <li>・会員増強施策の検討</li> <li>・SNS コンテンツの拡充フォロー</li> <li>◆ 広報・リエゾン機能の強化活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISCIE 連携</li> <li>→ ステアリング会議(5 月)</li> <li>→ SSH 出展準備</li> </ul> </li> <li>・横断連合連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 定時総会(4 月)</li> </ul> </li> <li>・その他学会連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 他学会行事協賛(随時)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> </ul>		

- ・JPMIWA 等工業会との連携  
→ 計測展へのブース参加
- ・日本学術会議と連携 (多分野応用小委員会)  
→ 自動制御連合講演会開催地決定準備
- ・リエゾン機能を持つ組織 (委員会、WG 等) の検討

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	教育・認定委員会	担当	橋本委員長
-----	----------	----	-------

2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分	
<ul style="list-style-type: none"> <li>AI/IoT/ビッグデータ塾 (仮称) の検討と企画 (2. 2)</li> <li>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13. 1)</li> </ul>	

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1. 計測制御エンジニア資格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WG 会合 (3, 5 月)</li> <li>問題の改訂</li> <li>関東 (本部)、北海道、九州各支部での実施の日程場所の確定・準備</li> <li>実施支部の検討</li> <li>受験者増対策の検討, 受験者勧誘</li> <li>学生受講者のインセンティブとして事業委員会と連携して「産業応用セミナー」を実施する</li> </ul> <p>2. プロセス塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロセス新塾 2018 スクーリング (3 月・第 5 回目)</li> <li>プロセス新塾 2019 スクーリング (6 月・第 1 回目)</li> </ul> <p>3. CPD ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WG 会合</li> <li>教育内容を検討 (通年)</li> <li>次年度計画の検討</li> </ul> <p>4. JABEE</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集 (通年)</li> <li>審査支援 (通年)</li> </ul> <p>5. 新教育プログラム事業計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業エンジニアの学び直しの場の提供</li> <li>AI/IoT/ビッグデータ塾 (仮称) を企画</li> <li>高等教育機関への学び直しの新たな場</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>委員会活動: 3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業会員のための施策の強化</li> <li>新 WG によるチュートリアル講演会の企画</li> <li>企業による効果的発信と論文発表形式の見直し検討まとめ</li> <li>会員への情報発信と教育支援</li> <li>「安全のための計測・制御・システムを考える会」の活動</li> <li>定期的な会合</li> <li>体験セミナー・企業見学会</li> <li>年間計画策定フォロー (準備, 実施)</li> <li>産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携)の実施</li> <li>フォローアップ</li> <li>その他友好団体との連携</li> <li>男女共同参画学協会連絡会への参加</li> <li>夏の学校出展 (8 月)</li> <li>SICE 内相談窓口機能の設置に向けた具現化</li> <li>会員増強施策の検討まとめ</li> <li>SNS コンテンツの拡充フォロー</li> <li>広報・リエンゾ機能の強化活動</li> <li>ISCIE 連携</li> <li>ステアリング会議(11 月)</li> <li>SSH 出展</li> <li>機幹連会連携</li> <li>その他学会連携</li> <li>他学会行事協賛(随時)</li> <li>JEMIMA 等工業会との連携</li> <li>JEMIMA-SICE 連携会議(3 月)</li> <li>計測展 2020 (大阪 10 月) へのブース参加</li> <li>日本学術会議と連携 (多分野応用小委員会)</li> <li>自動制御連合講演会開催⇒富山 (2020 は幹事学会)</li> <li>リエンゾ機能を持つ組織 (委員会, WG 等) の検討まとめ</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	部門協議会	担当	田中(仁)議長、山本(大)副議長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による情報発信 (1.2)</li> <li>• AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>• 部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>• 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> <li>1. 部門活動の促進サポート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 回の部門協議会を開催</li> </ul> </li> <li>2. 支部協議会との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 支部協議会への参加と情報共有</li> <li>• 合同の協議会を開催し合同協議会開催の検討</li> </ul> </li> <li>3. 企画委員会などとの連携強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 財務委員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告</li> </ul> </li> <li>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会員情報 DB 整備、部門ごとの名簿の整理</li> <li>• 各 WG と専門委員会の活動状況把握</li> <li>• 企業会員向けサービス WG の立ち位置検討</li> </ul> </li> <li>5. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各部門における活動の把握</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> </ul>		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> <li>1. 計測制御エンジニア資格                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• WG 会合 (7, 9 月)</li> <li>• 関東 (本部)、北海道、九州各支部で試験実施 (10 月～12 月)</li> <li>• 北海道講師選定</li> <li>• 遠隔面接準備</li> <li>• 受験者増施策を実施</li> </ul> </li> <li>2. プロセス塾                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロセス新塾スクーリング (第 2, 3, 4 回) 実施</li> <li>• WG 会合</li> <li>• 教育内容を検討 (通年)</li> </ul> </li> <li>3. CPD ポイント                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 表彰式、賞状授与</li> </ul> </li> <li>4. JABEE                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報収集 (通年)</li> <li>• 審査支援 (通年)</li> </ul> </li> <li>5. 新教育プログラム事業計画検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業エンジニアの学び直しの場の提供</li> <li>• AI/IoT/ビッグデータ塾 (仮称) を企画</li> <li>• 高等教育機関への学び直しの新たな場</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> </ul>

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	計測部門	担当	寺本部門長
<p>2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> <li>支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し</li> <li>Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による、メーカー・サード・ユルザ企業が企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>IMEKO2021 開催に向けた国際委員会との連携推進</li> </ul>			
<p>2020 年度事業計画</p> <p>●1～6 月</p> <p>2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先端電子計測部会 講演会</li> <li>第111回力学量計測部会行事: 力学量計測部会講演会・見学会</li> <li>計測部門運営委員会</li> <li>センシングプラットフォーム運営委員会</li> </ul> <p>3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パターン計測部会共同企画・動的画像処理実用化ワークショップ(DIA2019)</li> <li>第45回リモートセンシングシンポジウム</li> <li>第150回温度計測部会温度計測部会見学会</li> </ul> <p>5 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第104回パターン計測部会研究会</li> </ul> <p>6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>力学量計測部会運営委員会</li> <li>第112 回部会行事: 有機微量分析合同シンポジウム (力学量計測部会)</li> <li>先端電子計測部会運営委員会</li> <li>計測部門運営委員会</li> <li>センシングプラットフォーム運営委員会</li> </ul>	<p>2020 年度実施結果</p> <p>●1～6 月</p>		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>部門活動の促進サポート <ul style="list-style-type: none"> <li>4 回の部門協議会を開催</li> </ul> </li> <li>支部協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討</li> </ul> </li> <li>企画委員会などとの連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>財務委員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告</li> </ul> </li> <li>部門活性化の方策の検討と活動の広報の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>発信力強化に関して、部門協議会で議論</li> <li>会員情報 DB 整備、部門ごとの名簿に基づく部門へのインセンティブルールについて協議</li> </ul> </li> <li>AC 活性化、OS 企画・貢献 <ul style="list-style-type: none"> <li>各部門で個別実施</li> </ul> </li> <li>部門運営の負荷の把握および効率化の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>上期の協議結果を踏まえて、2021 年度の計画を立案</li> </ul> </li> </ol>	<p>●7～12 月</p>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	制御部門	担当	井村部門長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術と連携した制御分野に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>・継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> <li>・Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、OS、MS 開催や誌発行等による、メーカー、ユーザー企業、さらに異業種を含む社会への情報発信</li> </ul>			
2020 年度事業計画			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6 月</li> <li>第 7 回制御部門マルチシンポジウム (MSCS2020) 開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SICE International Symposium on Control Systems 2020</li> <li>・第 48 回 制御理論シンポジウム</li> <li>・第 11 回 ブランドモデリングシンポジウム</li> <li>・第 20 回 適応学習制御シンポジウム</li> <li>・第 37 回 誘導制御シンポジウム</li> <li>・第 6 回 システム構築と制御技術シンポジウム</li> </ul> </li> <li>将来構想検討タスクフォースによる検討</li> <li>MSXS における産業応用部門との Joint OS の開催</li> <li>部門賞贈呈式</li> <li>第 1 回制御部門運営委員会開催</li> <li>各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</li> </ul>	●1～6 月	2020 年度実施結果	

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12 月</li> <li>2 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>先端電子計測部会 講演会</li> <li>第111回力学量計測部会行事: 力学量計測部会講演会・見学会</li> <li>計測部門運営委員会</li> <li>センシングフォーラム運営委員会</li> </ul> </li> <li>3 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>パターン計測部会共同企画・動的画像処理実用化ワークショップ(01A2019)</li> <li>第45回リモートセンシングシンポジウム</li> <li>第150回温度計測部会温度計測部会見学会</li> </ul> </li> <li>5 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>第104回パターン計測部会研究会</li> </ul> </li> <li>6 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>力学量計測部会運営委員会</li> <li>第112 回部会行事: 有機微量分析合同シンポジウム(力学量計測部会)</li> <li>先端電子計測部会運営委員会</li> <li>計測部門運営委員会</li> <li>センシングフォーラム運営委員会</li> </ul> </li> </ul>	●7～12 月

2020 年度事業計画・実施報告

組織名	システム・情報部門	担当	半田部門長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6 月 <ul style="list-style-type: none"> <li>部門大会における部会・研究会とのシンポジウム開催の検討</li> <li>部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備</li> <li>部会シンポジウムなどの開催 (適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を模索)</li> <li>部門賞選考プロセス (表彰委員会の構成・発表賞の選考) の点検・見直し</li> <li>部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論文決定</li> <li>活動計画実施状況のレビューと PIXA による評価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化</li> <li>部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討</li> <li>Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのための情報発信方法の検討</li> <li>会員情報 DB の整備と部門大会活性化の検討</li> </ul> </li> <li>【1 月】 <ul style="list-style-type: none"> <li>自律分散システム・シンポジウム</li> </ul> </li> <li>【3 月】 <ul style="list-style-type: none"> <li>第 62 回システム工学部会研究会</li> <li>知能システムシンポジウム</li> <li>賢さの先端研究会</li> <li>知能工学部会運営委員会</li> <li>第 3 回分子ロボティクス年次大会</li> <li>第 21 回社会システム部会研究会</li> <li>第 67 回離散事象システム研究会</li> <li>第 1 回システム工学部会運営委員会</li> <li>社会システム部会運営委員会</li> <li>離散事象システム研究会運営委員会</li> </ul> </li> </ul>	●1～6 月

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12 月 <ul style="list-style-type: none"> <li>第 2 回制御部門運営委員会開催</li> <li>将来構想検討タスクフォースによる提案</li> <li>第 8 回制御部門マルチシンポジウム(MSCS2021)の企画・検討・準備</li> <li>部門賞の選考</li> <li>産業応用部門大会における Joint OS の開催</li> <li>第 3 回制御部門運営委員会開催</li> <li>各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</li> </ul> </li> </ul>	●7～12 月

2020年度事業計画	2020年度実施結果
<p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー自律分散システム部会研究会</li> <li>ー第22回社会システム部会研究会</li> <li>ー境界と関係性を視座とするシステムズアプロー チ調査研究会例会</li> <li>ー社会システム部会運営委員会</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門大会における部会・研究会とのシンポジウム 共催の検討</li> <li>・部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備</li> <li>・部会シンポジウムなどの開催（適宜、部門間なら びに部門内での連携・協議の可能性・有効性を模 索）</li> <li>・部門賞選考プロセス（表彰委員会の構成・発表賞 の選考）の点検・見直し</li> <li>・部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・ 採録論文決定</li> <li>・活動計画実施状況のレビューとPDCAによる評 価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化</li> <li>・部会・研究会の決算報告や部門予算管理における インセンティブの運用方策・方式について検討</li> </ul>	<p>●7～12月</p> <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー分子ロボティクス月例研究会</li> </ul> <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ーB10M00国内大会</li> <li>ー第23回社会システム部会研究会</li> <li>ー社会システム部会運営委員会</li> </ul> <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー自律分散サマースクール</li> <li>ー第68回離散事象システム研究会</li> <li>ー離散事象システム部会運営委員会</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー第3回分子ロボット倫理国際会議</li> <li>ー境界と関係性を視座とするシステムズアプロー チ調査研究会</li> </ul> <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー部門学術講演会（SSI2020）</li> <li>ー賢さの先端研究会</li> <li>ーCIフォーラム2020</li> <li>ー人工知能学会合同研究会（人工知能学会分子生物 情報研究会共催）</li> <li>ー第2回システム工学部会運営委員会</li> <li>ー知能工学部会運営委員会</li> <li>ー自律分散システム部会研究会</li> <li>ー社会システム部会運営委員会</li> </ul> <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー分子ロボティクス月例研究会</li> <li>ー第18回 CI 研究会</li> </ul>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	システムインテグレーション部門	担当	
	2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> <li>・ 技術委員会による新分野の開拓、部門内外の連携強化</li> </ul>		
	2020 年度事業計画	2020 年度実施結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門運営委員会 (幹事団) による前年度計画した部会活動の実施と状況把握、および予算書・企画書等の事務手続きの着実な実施のフォロー</li> <li>・ 部門運営委員会 (幹事団) での部会行事や部門講演会の支那連携の検討と推進の実施</li> <li>・ 新年度体制・各種情報等の着実な HP 更新</li> <li>・ 広報情報委員 (HP 担当) による行事の情報発信の継続</li> <li>・ 部会の各種情報等の HP 更新</li> <li>・ SICE の HP での部門・部会活動の積極的な広報</li> <li>・ 防災学術連携体への情報提供</li> <li>・ システムインテグレーション に関する新しい技術分野の開拓 (新調査研究委員会の立ち上げ)</li> <li>・ SI2019 会計処理/優秀講演演選考のフォロー</li> <li>・ SI2020 会計処理/優秀講演演選考のフォロー</li> <li>・ SI2020 運営企画のフォロー</li> <li>・ SI2021 に向けた実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>・ SI2022 に向けた実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>・ SII2021 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと SII2022 以降の開催地、実行委員長選定、企画運営のフォロー</li> <li>・ 特定費用準備資金による IROS 事業支援</li> </ul> </li> <li>・ 表彰委員会組織化</li> </ul>	● 1～6 月	

- ・ 部門賞募集と選定
- ・ FA 財団賞ノミネート
- ・ 運営委員会の部門協議会に合わせた開催
- ・ 第 1 回運営委員会 (1 月 7 日予定)
- ・ 第 2 回運営委員会 (1 月 27 日～1 月 31 日：メール審議)
- ・ 第 3 回運営委員会 (3 月：メール審議)
- ・ 第 4 回運営委員会 (5 月)



2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部門運営委員会 (幹事団) による前年度計画した部会活動の実施と状況把握と予算書・企画書等の事務手続きの着実な実施のフォロー</li> <li>部門運営委員会(幹事団)での部会行事・部門講演会での支部との連携検討と推奨の実施</li> <li>広報委員 (HP 担当) による行事の継続的な情報発信</li> <li>部会の各種情報等の HP 継続的な更新</li> <li>システムインテグレーションに関する新しい技術分野の継続的な開拓 (新調査研究委員会の立ち上げ)</li> <li>表彰委員会による部門賞選定と部門学術講演会における贈賞</li> <li>レスキューロボットコンテスト</li> <li>RT ミドルウェアコンテスト</li> <li>SI2020 企画と実施のフォロー</li> <li>SI2021 運営企画のフォロー</li> <li>SI2022 の実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>SI2023 の開催地と実行委員長の決定</li> <li>SI2021 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォロー</li> <li>SII2022 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと実行委員長の運営組織立ち上げフォロー</li> <li>SII2023 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォロー</li> <li>2021 年度体制の決定と予算策定の実施</li> <li>特定費用準備資金による IROS 事業支援</li> <li>第 5 回運営委員会 (8 月：メール審議)</li> <li>第 6 回運営委員会 (9 月)</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 7 回運営委員会 (10 月：メール審議)</li> <li>第 8 回運営委員会 (11 月：メール審議)</li> <li>第 9 回運営委員会 (12 月)</li> </ul>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	産業応用部門	担当	藤田部門長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
<p>2020 年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門運営委員会 新年度運営体制構築 部門大会企画準備 部門の在り方方の議論を実施 インセンティブルールの検討</li> <li>・ 制御部門マルチシミュレーションとの連携の企画・実施</li> <li>・ 産業応用分野に関する他部門等との連携行事の検討</li> <li>・ 産業応用部門大会における制御部門 OS およびその他同企画の調整と依頼</li> <li>・ 部門賞候補者推薦募集</li> <li>・ 各分会・エンジニア会主催行事の準備・実施</li> <li>・ 企業会員サービス WG の新技術に関するチュートリアル講演会に協力</li> </ul> </li> </ul>		<p>2020 年度実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> </ul>	

組織名	産業応用部門	担当	藤田部門長
2020 年度事業計画			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門運営委員会 部門大会の企画確認、各種広報 部門大会の実施 次年度部門大会での OS 連携に向けた企画調整</li> <li>・ SICE AC におけるスペシャリストセッションや関連 OS の運営・実施</li> <li>・ 産業応用部門大会の実施</li> <li>・ 部門賞候補者推薦締切、審査・決定、表彰の実施</li> <li>・ 各分会・エンジニア会主催行事の準備・実施</li> <li>・ 企業会員サービス WG の新技術に関するチュートリアル講演会に協力</li> </ul> </li> </ul>			
<p>2020 年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門運営委員会 部門大会の企画確認、各種広報 部門大会の実施 次年度部門大会での OS 連携に向けた企画調整</li> <li>・ SICE AC におけるスペシャリストセッションや関連 OS の運営・実施</li> <li>・ 産業応用部門大会の実施</li> <li>・ 部門賞候補者推薦締切、審査・決定、表彰の実施</li> <li>・ 各分会・エンジニア会主催行事の準備・実施</li> <li>・ 企業会員サービス WG の新技術に関するチュートリアル講演会に協力</li> </ul> </li> </ul>		<p>2020 年度実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> </ul>	

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	ライフエンジニアリング部門	担当	中島部門長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 部門へのインセンティブルールの見直し (10.2)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会議発行による、メール、サポート、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び会員数拡大</li> <li>・ 国際化に向けて部門シンポジウム・研究会の国際化・海外研究者との交流等を推進</li> </ul>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気生理運動学部会において、研究会を実施する。</li> <li>2. 日本生体医工学学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で生体医工学に関する講演会を実施する。</li> <li>3. 統合情報生物工学部会において、研究会を実施する。</li> <li>4. 前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</li> <li>5. 部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制の健全化を図る。</li> <li>6. 部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。</li> </ol>	<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気生理運動学部会において、研究会を実施する。</li> <li>2. 日本生体医工学学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で生体医工学に関する講演会を実施する。</li> <li>3. 統合情報生物工学部会において、研究会を実施する。</li> <li>4. 前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</li> <li>5. 部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制の健全化を図る。</li> <li>6. 部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。</li> </ol>		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフエンジニアリング部門シンポジウム/生体・生理工学シンポジウムを部門主導のもと、全部会の協力で実施する。</li> <li>2. ライフエンジニアリング分野の若手研究者の研究を奨励するため、ライフエンジニアリング部門シンポジウム発表者の中から、優秀な研究者を選抜し、研究奨励賞を授与する。</li> <li>3. 日本生体医工学学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で大学院生、若手研究者を対象に、生体医工学に関するサマースクールを実施する。</li> <li>4. ユビキタスヘルスケア部会において、研究会を実施する。</li> <li>5. 上期に引き続き、前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</li> <li>6. 上期に引き続き、部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制を構築し、財務体質の健全化を図る。</li> </ol> <p>※上期に引き続き、部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る</p>	<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフエンジニアリング部門シンポジウム/生体・生理工学シンポジウムを部門主導のもと、全部会の協力で実施する。</li> <li>2. ライフエンジニアリング分野の若手研究者の研究を奨励するため、ライフエンジニアリング部門シンポジウム発表者の中から、優秀な研究者を選抜し、研究奨励賞を授与する。</li> <li>3. 日本生体医工学学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で大学院生、若手研究者を対象に、生体医工学に関するサマースクールを実施する。</li> <li>4. ユビキタスヘルスケア部会において、研究会を実施する。</li> <li>5. 上期に引き続き、前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</li> <li>6. 上期に引き続き、部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制を構築し、財務体質の健全化を図る。</li> </ol> <p>※上期に引き続き、部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る</p>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	支部協議会	担当	高山議長、鈴木(前)副議長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による情報発信 (1.2)</li> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画			
2020 年度実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> <li>2 月 支部協議会準備会</li> <li>・ 各支部の新体制の確認</li> <li>・ 支部現況に関する情報共有</li> <li>・ 支部再編における検討状況の確認と情報共有</li> <li>・ SICE 行事 Web アプリの試用状況の確認</li> <li>・ 行事 DB に基づく、部門との連携企画を含めた部門・支部の企画検討に関する情報共有</li> <li>・ 支部評価に関する検討状況の情報共有</li> <li>・ 支部評価項目および評価データの確認と情報共有</li> <li>・ SICE- AC2020 への企画、投稿の呼び掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 月 部門・支部合同会議 (東京都内)</li> <li>・ 部門体制、支部体制の再編に関する議論</li> <li>・ 各支部活動の状況と好事例の共有</li> <li>・ 部門、支部、産業、地域の連携に関する議論</li> <li>・ 会員情報 DB 整備と活用方法に関する議論</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とプロモーションに関する検討</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>4 月 第 1 回支部協議会 (SICE 事務局)</li> <li>・ 支部再編に関する検討状況、調査結果等の情報共有</li> <li>・ 各支部活動の状況の確認</li> <li>・ 継続事業に関する準備・実施に関する確認</li> <li>・ 部門・支部の連携企画等の検討</li> <li>・ 支部評価に関する検討状況の情報共有</li> <li>・ 支部評価項目および評価データの確認と情報共有</li> <li>・ Society5.0 に関する企画の検討</li> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する企画の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 月 第 2 回支部協議会 (SICE 事務局)</li> <li>・ 支部再編に関する検討</li> <li>・ 各支部活動の状況の確認</li> <li>・ 部門・支部の連携企画等の検討</li> <li>・ 支部評価に関する検討</li> <li>・ 拡大理事ワークショップにおける検討事項の確認</li> <li>・ AC2020 への参加促進</li> </ul>		
2020 年度事業計画			
2020 年度実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> <li>7 月 第 2 回支部協議会 (SICE 事務局)</li> <li>・ 支部再編に関する検討</li> <li>・ 各支部活動の状況の確認</li> <li>・ 部門・支部の連携企画等の検討</li> <li>・ 支部評価に関する検討</li> <li>・ 拡大理事ワークショップにおける検討事項の確認</li> <li>・ AC2020 への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 月 部門・支部合同会議 (拡大理事ワークショップ会場、部門協議会と併催)</li> <li>・ 部門・支部の連携企画等の確認と情報共有</li> </ul>		
2020 年度事業計画			
2020 年度実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> <li>7 月 第 2 回支部協議会 (SICE 事務局)</li> <li>・ 支部再編に関する検討</li> <li>・ 各支部活動の状況の確認</li> <li>・ 部門・支部の連携企画等の検討</li> <li>・ 支部評価に関する検討</li> <li>・ 拡大理事ワークショップにおける検討事項の確認</li> <li>・ AC2020 への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 月 第 3 回支部協議会 (拡大理事ワークショップ会場)</li> <li>・ 拡大理事ワークショップを受けての議論</li> <li>・ 支部再編に関する具体的検討</li> <li>・ 支部評価に関する具体的検討</li> <li>・ 部門・支部連携企画に関する具体的検討</li> <li>・ 次年度事業計画の立案に関する議論</li> </ul>		

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	北海道支部	担当	近野支部長
<p style="text-align: center;">2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画	2020 年度実施結果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> <li>・ 支部会議</li> <li>・ 第 52 回計測自動制御学会北海道支部学術講演会 (日本ロボット学会北海道ロボット技術研究専門委員会との共催)</li> <li>・ 計測自動制御学会北海道支部主催特別講演会</li> <li>・ 共催行事：日本ロボット学会北海道ロボット技術研究専門委員会特別講演会</li> <li>・ 共催行事：複雑系マイクロシミュレーション</li> <li>・ 支部運営委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> </ul>		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> <li>・ 協賛事業：ロボットトトライアスロン</li> <li>・ 協賛事業：大規模環境 3 次元計測と認識・モデル化技術集中講演会</li> <li>・ 計測制御エンジニアセミナー</li> <li>・ 計測制御エンジニア試験への協力</li> <li>・ 産業応用セミナー</li> <li>・ 支部運営委員会</li> <li>・ 支部選挙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> </ul>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	東北支部	担当	吉田支部長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul> <p>支部活動に関する情報共有と円滑な運営を図ることを目的とし、総会 1 回、専門委員会 7 回を開催する。支部内における研究者間の学術交流を活性化させるため、各県の大学・高専が持ち回りで計 7 回の研究会を開催する。</p> <p>学会への学生勧誘策の一環として、研究発表奨励賞の授与を行う。</p> <p>また、適宜共催事業・協賛事業を実施することで、学会員の枠を超えて広く社会に向けた支部活動の発信、および貢献を行う。</p>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月 東北支部会議 (1 月)</li> <li>東北支部研究集会 (第 328 回～330 回)</li> <li>特別講演会 (3 月)</li> <li>東北支部優秀発表奨励賞 (各研究集会ごと)</li> <li>東北支部専門委員会 (第 1 回～第 4 回)</li> <li>【後援事業】 学都仙台・宮城サイエンス・デイ 2020</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> </ul>	

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月 東北支部研究集会 (第 331～334 回)</li> <li>東北支部優秀発表奨励賞 (各研究集会ごと)</li> <li>【共催事業】 電気自動車エエコロン競技大会 (8 月) 東北支部特別賞 (エエコロン競技大会)</li> <li>【協賛事業】 中学生のための CG プログラミング講座 (12 月)</li> <li>東北支部専門委員会 (第 5 回～第 7 回)</li> <li>東北支部運営委員・顧問・専門委員会合同委員会 (12 月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> </ul>

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	中野支部	担当	佐々木支部長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>			
2020 年度事業計画	2020 年度実施結果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月 (1 月)</li> <li>・ 支部会議</li> <li>・ 特別謝辞賞会</li> <li>・ 支部賞表彰</li> <li>・ 第 1 回運営委員会・事業委員会 (2 月)</li> <li>・ 第 5 1 期学業優秀賞審査 (3 月)</li> <li>・ 第 5 1 期学業優秀表彰 (4 月)</li> <li>・ 第 2 回運営委員会・事業委員会 (5 月)</li> <li>・ 有料講習会 1 (1-6 月)</li> <li>・ 支部研究委員会事業</li> </ul>	● 1～6 月		

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月 (7 月)</li> <li>・ 第 3 回運営委員会・事業委員会 (9 月)</li> <li>・ 中野支部シンポジウム (10 月)</li> <li>・ 見学会</li> <li>・ 第 5 1 期支部賞審査 (11 月)</li> <li>・ 有料講習会 2</li> <li>・ 若手研究発表会</li> <li>・ 第 4 回運営委員会・事業委員会</li> <li>・ 顧問会議 (7-12 月)</li> <li>・ 支部研究委員会事業</li> </ul>	● 7～12 月		

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	北陸支部	担当	渡辺支部長
<p>2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul> <p>支部会議やメールマガジンを活用し、支部新設・再編に向けた意向調査を随時実施するとともに、協議の継続を行う。</p>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<p>●1～6 月</p> <p>1 月 新旧合同運営委員会、支部会議、特別講演会</p> <p>3 月 日本機械学会北陸信越支部 第 57 期総会・講演会 (共催)</p> <p>3 月 平成 30 年度北陸地区学生による研究発表会 (共催)</p> <p>4 月 第 1 回運営委員会</p> <p>6 月 計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 若手奨励賞の募集</p> <p>6 月 計測自動制御学会 北陸支部優秀論文発表賞の募集</p>	<p>●1～6 月</p>		

2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<p>●7～12 月</p> <p>7 月 第 1 回北陸支部講演会の開催</p> <p>7 月 第 2 回運営委員会 (メール審議)</p> <p>7 月 福井大学公開講座「親子で学ぶ電波の不思議な世界とラジオ製作」(共催)</p> <p>8 月 KIT サマー・サイエンス・スクール「ロボットカーを制御しよう！」(共催)</p> <p>9 月 電気・情報関係学会北陸支部連合講演会の主催</p> <p>9 月 北陸支部講演会 (兼電気・情報関係学会 北陸支部招待講演) の開催</p> <p>9 月 第 3 回運営委員会の開催</p> <p>9 月 優秀論文賞の表彰</p> <p>9 月 SICE AC 学生参加奨励賞の表彰</p> <p>10 月 第 3 回北陸支部講演会の開催</p> <p>11 月 自動制御連合講演会参加奨励賞の表彰</p> <p>11 月 北陸先端大主催の産学官連携行事 (Matching HUB) に参加</p> <p>11 月 第 4 回北陸支部講演会の開催</p> <p>11 月 第 4 回運営委員会の開催 (メール審議)</p> <p>12 月 第 5 回北陸支部講演会の開催</p> <p>12 月 日本生体医工学学会北陸支部講演会 (共催)</p>		<p>●7～12 月</p>	



## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	担当	津坂支部長
<p>2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul>		
<p>2020 年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月 (1 月)</li> <li>・ SICE 関西支部・ISCIE シンポジウム</li> <li>・ 支部会議</li> <li>・ 特別謝辞会</li> <li>・ 支部長賞授賞式</li> </ul> <p>(4 月)</p> <p>令和 2 年度 第 1 回運営委員会</p> <p>(6 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 2 年度 第 2 回運営委員会</li> <li>・ ISCIE・SICE 関西支部 チュートリアル講座</li> </ul>	<p>● 1～6 月</p>	<p>2020 年度実施結果</p>

組織名	担当	津坂支部長
<p>2020 年度事業計画</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月 (8 月)</li> <li>令和 2 年度 第 3 回運営委員会</li> <li>(9 月)</li> <li>会員交流企画</li> <li>(10 月)</li> <li>・ 計測展</li> <li>・ 令和 2 年度 第 4 回運営委員会</li> <li>(11～12 月)</li> <li>支部長賞の募集と選考</li> <li>(12 月)</li> <li>・ 令和 2 年度 第 5 回運営委員会</li> <li>・ 支部長賞選考委員会</li> </ul>		
<p>● 7～12 月 (8 月)</p> <p>令和 2 年度 第 3 回運営委員会</p> <p>(9 月)</p> <p>会員交流企画</p> <p>(10 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計測展</li> <li>・ 令和 2 年度 第 4 回運営委員会</li> </ul> <p>(11～12 月)</p> <p>支部長賞の募集と選考</p> <p>(12 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 2 年度 第 5 回運営委員会</li> <li>・ 支部長賞選考委員会</li> </ul>	<p>● 7～12 月</p>	<p>2020 年度実施結果</p>

## 2020年度事業計画・実施報告

組織名	中国支部	担当	平田支部長
2020年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関するSICE企画 (2.1)</li> <li>・支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul> 支部再編を見据えた活性化と効率化のバランスを考慮した諸活動の推進			
2020年度事業計画		2020年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6月</li> <li>1. 第1回運営委員会 1月中旬, 近畿大学工学部にて開催</li> <li>2. 支部会議 (総会) 1月中旬, 近畿大学工学部にて開催</li> <li>3. 主催講演会 1月中旬, 近畿大学工学部にて開催</li> <li>4. 拡大運営委員会 5月中旬, 近畿大学工学部にて開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6月</li> </ul>		

組織名	中国支部	担当	平田支部長
2020年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関するSICE企画 (2.1)</li> <li>・支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・総務事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul> 支部再編を見据えた活性化と効率化のバランスを考慮した諸活動の推進			
2020年度事業計画		2020年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12月</li> <li>1. チュートリアル講演会 8月ごろ, 開催地未定</li> <li>2. 計測制御シンポジウム 9月ごろ, 開催地未定</li> <li>3. 第2回運営委員会 (臨時) 10月中旬, 必要に応じてメール会議</li> <li>4. 学術講演会 11月下旬, 近畿大学工学部にて開催</li> <li>5. 第3回運営委員会 11月下旬, 近畿大学工学部にて開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12月</li> </ul>		

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	四国支部	担当	宮田支部長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>・ 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>・ 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul> <p>Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による情報発信 AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画</p> <p>支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続</p> <p>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守</p>			
2020 年度事業計画		2020 年度実施結果	
<p>● 1～6 月</p> <p>1. 支部会議 1 月中、メール会議 議題：支部再編に関する事項 2020 年度の各機関の担当委員選出等</p> <p>2. 第 1 回支部運営会議 1 月に高知高専にて開催 議題：2020 年度の引継ぎ事項等 高知高専→阿南高専</p> <p>3. LED 総合フォーラム 2020 in 徳島 2020 年 2 月 29 日に開催 SICE 四国支部は協賛 (2019 年も協賛)</p> <p>4. 第 1 回支部学術講演会実行委員会 5 月中、メール会議 議題：実行委員会、プログラム委員会メンバーの決定、CP 案と今後の予定等</p> <p>5. 第 1 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 5 月中旬に開催 → 6 月に分担金を支給</p>			

2020 年度事業計画	2020 年度実施結果
● 7～12 月	● 7～12 月
6. 第 2 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 8 月中、メール会議	
7. 第 2 回支部学術講演会実行委員会 9 月中、メール会議 各委員会の業務分担の確認 9 月末に学術講演会ホームページを公開し、講演受付を開始 目標発表件数は 60 件程度 開催日の一カ月前を原稿締切り予定	
8. 電気関係学会四国支部連合大会 (SICE 四国支部共催) 9 月中旬に開催	
9. 第 37 回センシングフォーラム (SICE 計測部門、四国支部共催) 9 月 3 日～4 日に高知工科大学で開催	
10. 四国移動型&自律型ロボットトーナメント 2020 (SMART2020) 毎年 11 月～12 月に開催 SICE 四国支部は毎年後援 →協賛金を支給	
11. 第 3 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 11 月中旬に開催	
12. 四国支部学術講演会 12 月中、徳島県にて開催 (担当：阿南高専) ※優秀な若手発表者に対して毎年表彰	
13. 第 2 回支部運営委員会 12 月中、四国支部学術講演会にて開催	

## 2020 年度事業計画・実施報告

組織名	担当	喜安支部長
九州支部	担当	喜安支部長
2020 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画 (2.1)</li> <li>• 支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続 (10.1)</li> <li>• 継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守 (13.1)</li> </ul> <p>Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による情報発信</p> <p>AI、IoT、ビッグデータ等新しい技術に関する SICE 企画</p> <p>支部新設・再編に向けた意向調査に基づく協議の継続</p> <p>継続事業の着実な実施とコンプライアンスの順守</p>		
2020 年度事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～6 月</li> <li>• 令和 2 年度九州支部第 1 回運営委員会 (新旧合同)</li> <li>• 九州支部第 50 期支部 顧問会議 (新旧合同)</li> <li>• 九州支部第 50 期支部会議</li> <li>• 支部奨励賞発表</li> <li>• 産業応用セミナー</li> <li>• 令和 2 年度九州支部第 2 回運営委員会</li> <li>• 研究会</li> <li>• 講演会</li> <li>• 連携団体、組織、学会との協賛事業</li> </ul>	<p style="text-align: center;">2020 年度実施結果</p>	

組織名	担当	喜安支部長
九州支部	担当	喜安支部長
2020 年度事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7～12 月</li> <li>• SICE 九州フォーラム</li> <li>• 令和 2 年度九州支部第 1 回事業委員会</li> <li>• 令和 2 年度九州支部第 3 回運営委員会</li> <li>• 第 39 回九州支部学術講演会 (特別講演会と学生発表交流会を併設)</li> <li>• 令和 2 年度九州支部第 2 回事業委員会</li> <li>• 国際会議 ICT-ROBOT2020 の韓国 ICROS との共催</li> <li>• 計測制御エンジニア資格試験</li> <li>• 研究会</li> <li>• 講演会</li> <li>• 連携団体、組織、学会との協賛事業</li> </ul>	<p style="text-align: center;">2020 年度実施結果</p>	